

Weekly Reports 2023-2024



国際ロータリー第2680地区

Rotary

加古川ロータリークラブ



2023-24年度RI会長:ゴートンR. マツキナリ/地区ガバナー:安行 英文
加古川ロータリークラブ会長:釜谷 和明 / 幹事:吉田 太郎
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和6年5月21日(火) 晴 No. 42



▲会長挨拶



▲畑青少年奉仕委員長
卓話



▲フォーラム・ゲスト卓話
高橋様

会長の時間

会長 釜谷 和明

皆さんこんにちは。寒暖差を感じる日々が続いております。場所によっては温度設定もまちまちです。ご自身で十分対策して頂き、体調を崩さないように注意して頂ければと思います。

さて、先週もお話しさせて頂きましたが、今月5月は青少年奉仕月間となっております。国際ロータリーには青少年プログラムが存在し、主に次の4つのプログラムが用意されています。

インターアクトクラブ・・・12～18歳の人たちで構成され、会員が、リーダーシップを発揮する力を磨きながら、奉仕プロジェクトや活動を通じて国際感覚を養っています。

ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)・・・若い人たちが楽しみながら新しいスキルと自信を身につけることを目指すリーダーシップ養成プログラムです。今年も、4月11日～14日の日程で行われました。当クラブ推薦で参加された高橋さんに本日は卓話をお願いしております。後ほど宜しくお願い致します。

ロータリー青少年交換・・・世界100カ国以上で実施されているプログラムで、15～19歳の学生が外国語や異文化を学びながら、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。平和の実現を目指して国際理解を促し、若者一人ひとりの育成を支援します。

新世代交換・・・30歳までの大学生と社会人を対象とした短期の交換プログラムです。人道的な奉仕活動を通じて参加者のキャリア目標を応援できるよう、参加者のニーズや要望に応じた内容の交換が行われます。

このような様々な青少年プログラムを通じた活動が行われているのですが、会員に認知されていないのが現状かと思います。

各社、団体で新入社員を中心とした若い方に研修をおこなっておられると思いますが、RCのプログラムも選択の一つとして考えればより良い研修ができるのではないかと思います。

本日は青少年奉仕委員会畑委員長に担当頂き RYLA を終えられたばかりの高橋さんに卓話をして頂きます。楽しみにしておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

以上で「会長の時間」とさせていただきます。本日も最後まで宜しくお願い致します。

幹事報告

- 1) ☆他クラブニュース
例会変更のお知らせ
明石 RC ◇6月19日(水)→18:00～ 親睦例会「お疲れ様会」
◇6月26日(水)→休会[定款第7条第1節(d)(4)]
高砂 RC ◇6月14日(金)→6月15日(土) 引継家族移動例会
於:ホテルモントレ姫路
◇6月28日(金)→休会[定款第7条第1節(d)]
- 2) 地区より 5/16【石川県能登半島震災支援事業 寄贈車 贈呈式】が石川県能登町にて行われ、その様子についての新聞記事をいただいておりますので回覧します。
- 3) 本日例会終了後、B1 中会議室に於いて 70周年実行委員会 第4回記念事業部会を開催します。

ニコニコ



省	略	☺	高橋様、本日の卓話よろしくお願い致します。
省	略	☺	高橋様、本日のお話し、楽しみです。 よろしくお願いいたします。
省	略	☺	髪を切ってさっぱり 気持ち良い～！
省	略	☺	高橋様、「青少年指導者養成プログラムを受講して」の卓話楽しみです。よろしくお願い致します。
省	略	☺	長期欠席のおわび。
省	略	☺	お陰様で、二人展(フタリテン)盛況のうちに終わりました。 ありがとうございました。
省	略	☺	高橋さんようこそいらっしゃいました。卓話楽しみです。
省	略	☺	例会長期欠席のおわび。
省	略	☺	青少年奉仕、畑委員長、本日のフォーラム、ご苦労様です。
省	略	☺	本日、フォーラム担当させていただきます。
省	略	☺	畑会員、本日のフォーラム楽しみにしています。
省	略	☺	テーブルの花いただきます。

以上12件 ¥18,000-
本年度累計¥1,904,000-

出席委員会

☆ 今	週	会員数 75 名 出席 43 名 出席免除 11 名 欠席 21 名
☆ 欠 席 者		省略
☆ 前	々	週
☆ ゲ ス ト		会員数 75 名 出席 53 名 出席免除 14 名 欠席 8 名 高橋 由侑奈様(RYLA セミナー受講者)

親睦活動委員会

例会場当番

5月28日(火) 植田、太田

6月 4日(火) 吉川、大山



プログラム委員会

本日5月21日(火)	5月28日(火)	6月4日(火)	6月11日(火)
フォーラム・ゲスト卓話 『「青少年指導者養成プログラム」を受講して』 高橋 由侑奈様 青少年奉仕委員会担当	卓話 「資産運用のお話し」 浅井担当	クラブ協議会 1年間の反省	卓話 「お金の育て方ガイド 可愛い子には 旅をさせよ」 水河担当

ロックファンを魅了するローターアクトクラブ

文：Arnold R. Grahl

きっかけは、会員たちの何気ない会話でした。バングラデシュ首都にあるダッカ・オーキッド・ローターアクトクラブの会員たちは、数日前に行ったロックコンサートが若い音楽ファンたちの活力と熱気にあふれていたことを興奮気味に話していました。

創立会長ダム・ホセイン・ロニさんは、自身はロックファンではなかったものの、それを聞いてあるアイデアを思いつきました。国内の人気ロックバンドを集めてクラブがコンサートを開催したら、ローターアクトへの注目と入会への関心が高まり、プロジェクトのための資金も集まるかもしれない……。

ロニさんはこう振り返ります。「これはビッグチャンスだ、と感じました。バングラデシュの若い世代は、コンサートや音楽イベントに夢中です。何かビッグなことをすれば、クラブやロータリーの活動について知ってもらえるのではないかと、ローターアクトがただの地元クラブではなく、国際的なムーブメントの一部であることを見てもらえるのではないかと、思いました」

イベント立ち上げには相当な初期費用がかかりますが、仲間のローターアクトたちもこのアイデアに賛同してくれました。数カ月間にわたる調査と計画を経て、6月2日、ダッカ・コンベンションセンターで開催したチャリティコンサート「Empathy 2023」に、1万2千人の若い音楽ファンが押し寄せました。

出演したのは、同国の9つの人気ロックバンドとヘビーメタルバンド（Artcell、Warfaze、Shironamhin、Ashes など）。閃光のような照明の中、ステージ上でギターがうねり、聴衆たちは一緒に歌いました。クラブにとって何より重要だったのは、多くの来場者にローターアクトの入門書とオリジナルTシャツ（イベントとローターアクトの両方のロゴ入り）を配布できたことです。

ロニさんによると、コンサートの後、ローターアクトへの入会について670件以上の問い合わせが寄せられました。市内に30以上のクラブを設立する計画も立てられています。出演したバンドがSNSでイベントとローターアクトについて紹介したことで、クラブのSNSページへのアクセスが急増。多くの報道機関もコンサートのニュースを取り上げました。「コンサート後の数週間、イベント



ダッカ・オーキッド・ローターアクトクラブの会員たち。(左から)ディダール・アラムさん、アナフ・アディブさん、タシン・ミティさん、サダム・ホセイン・ロニさん、ファイサル・カナンさん。ロックを通じてローターアクトへの注目と入会への関心を高め、プロジェクトの資金を集めただけでなく、数名の会員が独自のバンドも結成しました。

写真提供: Reza Rahman

で配ったTシャツを着て街を歩く若者たちを見かけました」とロニさんは言います。ダッカ・オーキッド・ローターアクトクラブが設立されたのは、2015 年、ロニさんが電気工学を学ぶために東部の町コミラからダッカに上京したときでした。それまでにも**インターアクト**で積極的に活動していたロニさんは、地区インターアクト代表を務めた経験を通じて契約交渉やリーダーシップのスキルも学びました。ロニさんはこう言います。「(ローターアクトクラブ設立を通じて)新しい友だちをつくり、仲間からサポートしてもらい、地域社会に変化をもたらしたかったんです」

新しくできた友人の一人、ファイサル・カナンさんは、多くの若者に奉仕に参加してもらいたいというロニさんの情熱に共感しました。コンサートの前、会員たちはローターアクトのことや、ポリオ根絶をはじめとするロータリーの活動など、時間をかけて人びとに説明しました。「ローターアクトクラブで奉仕活動することへの若者たちの関心を高め、いつでもどこでも奉仕が可能だと示したかった」とカナンさんは言います。

洪水などの被災地、特に都市部から離れた地域へ

大音量で関心を引く

音楽イベントを通じて注目度を高めたダッカ・オーキッド・ローターアクトクラブが成功のヒントを紹介します。

- **大衆文化を利用**: 音楽、芸術、食といった地元文化を祝うイベントを開催しました。
- **インフルエンサーを起用してイベント促進**: バングラデシュの若者たちがクラブとコンサートについて知ったのは、出演バンドらによる SNS 投稿でした。
- **オリジナルグッズも忘れずに**: コンサート後の数週間、ダッカの街中でクラブのロゴ入り T シャツを着た人たちを見かけました。
- **楽しむ**: 会員たちが結成したバンドでボーカルとハーモニウムを担当するタシン・ミティさんは、例会後にジャムセッションを行っています。「演奏を会員たちも楽しんでくれています。入会への関心も高まり、クラブの会員数が日に日に増えています」
- **夢はビッグに**: ローターアクト会員が大規模なコンサートを成功させることに懐疑的な人もいましたが、それでもクラブは挑戦しました。以来、クラブ入会への問い合わせ数は 670 件以上に上っています。

の支援を通じて、会員たちはそれを実証してきました。2016 年には、土地問題をめぐる民族対立で家を失った人びとに衣類や物資を提供し、2019 年には、同国北部のクリグラムまで足を運んで洪水の被災者たちに食糧、衣類、医薬品を届けました。

ロニさんは、自身が設立に携わった南アジア・インターアクト学友会を通じてインターアクトとのつながりも保っています。2022 年、地区インターアクト代表だったタシン・ミティさんとともに、シレット市の洪水被災者に救援物資を届ける活動を、インターアクトクラブとローターアクトクラブ合同で実施しました。

「Empathy 2023」コンサートで集まった資金の一部は、恵まれない家庭のための冬用衣類の資金として活用されます。クラブは、2024 年に屋外スタジアムでさらに大きなイベントを開催することを企画しており、このイベントの収益を洪水被災者のためのシェルター建設資金に充てたいと考えています。

ほかの若者たちもコンサートに協力しました。現在はローターアクト会員となったミティさんは、ボランティアのまとめ役となり、インターアクト者たちにイベントの宣伝をお願いしました。「これまでとは違うロータリーのイメージを大勢の人に見てもらえた」とミティさんは言います。

一方、ロニさんも仕事の人脈を駆使して著名人たちに声をかけました。その中には、昨年クラブに入会した有名コメディアンもいました。さらに、カナンさんとミティさんをはじめとする数名の会員が自分たちのバンド「Shadow」を結成し、これまでロータリーやローターアクトの行事で演奏してきました。スタジアムでの今年のコンサートでもステージに上がる予定です。

「音楽界で私たちのバンドのプロモーションができれば、もっと多くの若者にローターアクトへの興味を持ってもらえる」とロニさん。「勉強や仕事で忙しい若い世代は、文化に飢えています。音楽を通じてローターアクトを紹介できれば、若い世代が奉仕に関心を抱き、変化をもたらす可能性に気づいてくれるでしょう」